



広島県三原市

人口/96,194人(H27年国勢調査)

三原市では、市の振興作物の栽培を中心とし、農業を始めようとする方に就農のための研修を実施。農業の担い手となる人材を育成する支援を行なっています。

三原市の就農支援策

支援項目	期間等	補助(支援)内容
農地相談	随時	—
新規就農者育成研修事業	1年間	新規就農をめざす方を対象とした研修です。模擬経営により基礎技術や経営感覚を習得できます。研修奨励金 月額70,000円
やさ農業塾	1年間	新規就農や産直等への出荷をめざす方を対象とした講習会です。野菜の栽培管理など基礎知識を習得できます。(月1回、受講料5,000円)
農作物栽培用ハウス等導入事業	—	補助率1/2以内、上限100万円
有機堆肥活用支援事業	—	補助率1/2以内、上限50万円

ACCESS

		
広島空港から車で 約 30分	JR三原駅から徒歩 約 10分	三原久井ICから車で 約 20分

三原はこんなまち!

1 多様な自然環境と交通アクセスの良さが自慢

南部の瀬戸内海沿岸地域と北部の山地・丘陵地域が織りなす多様な自然環境と、広島空港、山陽自動車道、JR山陽新幹線、JR山陽本線・呉線、三原港、須波港を擁する陸・海・空の交通の要衝です。

2 活力ある農・水産業のまち

農林水産業の振興において、集落法人の設立、新規就農者育成研修事業の実施、農業塾の開催等、担い手の育成に取り組む、生産性向上と経営安定化のための土地の集積に取り組んでいます。水産業については、特産品であるタコをはじめとした漁業振興に取り組んでいます。

3 学校給食への地場産物供給

学校給食における地産地消率を向上させるため、地場産農産物の集出荷を行うJAに対して、学校給食への運搬に係る経費を支援するとともに、学校給食へ出荷する農家の育成をしています。

国の支援策(農業次世代人材投資資金)の活用

支援項目	補助期間	補助金額
経営開始型	▶ 最長5年間	▶ 年間最大150万円
準備型	▶ 最長2年間	▶ 年間150万円

お問い合わせ先

三原市役所 農林水産課

TEL.0848-67-6077

〒723-8601 広島県三原市港町三丁目5番1号
FAX.0848-64-4103

e-mail:nosui@city.mihara.hiroshima.jp



広島県福山市

人口/464,811人(H27年国勢調査)

備後圏域の中核都市である福山市では、生産量日本一のくわい、広島県内屈指の生産量を誇るぶどうのほか、アスパラガス、ほうれんそう、いちじくの栽培が盛んで、各種研修制度を設けています。人口約47万人都市としての消費力もあり、生産と消費のバランスが取れた都市近郊型農業を行えることが特徴です。新規就農者をサポートするために営農相談もっており、農業開始時期、農地の有無、農業知識・経験、栽培予定品目や自己資金、労働力の有無についてお聞きし、具体的なアドバイスさせていただきます。

福山市の就農支援策

支援項目	期間等	補助(支援)内容
生産者団体による研修(①)	1~2年間	くわい、ぶどう、アスパラガス、ほうれんそう、いちじくについて各産地で研修を実施します。
農業担い手研修(②)	1年間 (週1回)	市園芸センターで野菜・果樹について産直市等に出荷できる基礎技術を習得できます。
女性農業者育成研修	1年間	セミナー、現場見学会、農業体験を実施し、女性農業者と交流もできます。初心者大歓迎!
営農マスターの派遣	随時	優れた経営・生産技術と経験を有する農業者が現地指導を行います。
農業設備費の補助 (ふくやまブランド農産物生産拡大事業)	1年間	補助率1/2以内、上限90万円 (①の研修を修了した人が対象)
農業設備費の補助 (やりがい農業実践事業)	1年間	補助率1/2以内、上限30万円 (②の研修を修了した人が対象)
農業設備費の補助 (産直市生産拡大事業)	1年間	補助率1/2以内、上限30万円 (福山市内の産直市出荷者団体の会員が対象)
農地情報の提供	随時	栽培品目や規模に応じ、適した農地を希望する地区で貸借できるよう、関係機関が支援します。

お問い合わせ先

福山市役所 地産地消推進課

TEL.084-928-1242

〒720-8501 広島県福山市東桜町3番5号
FAX.084-927-7021

e-mail:chisanchishou-suisin@city.fukuyama.hiroshima.jp

ACCESS

		
広島空港から車で 約 60分	JR福山駅から徒歩 約 5分	福山東ICから車で 約 15分

福山はこんなまち!

1 おだやかな環境と交通アクセスの良さが自慢!

街も海も山も満喫できる福山暮らし。JR福山駅には新幹線「のぞみ」や「さくら」も停車するので、東京・大阪や九州方面へのお出かけも便利です。

2 安心して子育てのできるまち!

充実した保育サービスや妊娠・出産・子育てを切れ目なくサポートする「福山ネウボラ」、こども発達支援センターなど、子育てを支援する体制が整っています。

3 あなたの「働きたい」を応援!

ものづくりのまち福山は、オンリーワン・ナンバーワン企業がたくさん! 有効求人倍率(年平均)は10年連続全国平均を上回ります。

国の支援策(農業次世代人材投資資金)の活用

45歳未満で独立・自営就農する次世代を担う農業者となることを志向する者に対し、就農前の研修段階及び就農直後の経営確立を支援します。

支援項目	補助期間	補助金額
経営開始型	▶ 最長5年間	▶ 年間最大150万円
準備型	▶ 最長2年間	▶ 年間150万円



広島県府中市

人口 / 40,069人 (H27年国勢調査)

府中市では、キャベツ、白菜等を推進作物としており、地元加工業者等への販路を活用したコンテナ出荷での省力的な生産、契約出荷による安定的な価格での有利販売を行っています。生産者組織に対して共同利用機械の導入補助を行っており、生産者組織に加入することで、共同利用機械を利用することもできます。

府中市の就農支援策

支援項目	期間等	補助(支援)内容
農地相談	随時	農業委員会、農地中間管理機構と連携して行います。
農業用機械導入・農業用施設整備の補助	—	小型管理機や移植機など農業用機械の導入又は冷蔵保管庫など農業用施設の整備に必要な経費を補助します。 補助率1/2以内(アスパラガス・ほうれんそう・キャベツ・はくさいを栽培する場合) 補助率1/3以内(上記以外の作物を栽培する場合)
ハウス資材等の助成	—	水田を利用して、ハウス栽培を行う場合に必要となるハウス資材の経費を助成します。 補助率1/3以内
果樹等の栽培に必要な経費の補助	—	果樹等の栽培に必要な種苗費、肥料費、農業費等に係る経費を補助します。 補助率1/2以内、上限50万円

ACCESS

		
広島空港から車で 約 50分	JR福山駅からJR福塩線で 約 45分	尾道北ICから車で 約 15分

府中はこんなまち!

1 歴史とものづくりが受け継がれた町

奈良時代に国府が置かれたことで町の礎を築き、江戸時代には石見銀山から銀を運ぶ石州街道の宿場町として栄えました。現在は製造業・木工業を中心にもものづくりが盛んで、急成長している企業や世界的に活躍している企業もあります。

2 安心・充実の子育て環境

木工のまち府中らしく、出生時に「メイド・イン・府中」の木のおもちゃをプレゼント。小中一貫教育に力を入れています。学校給食で使う食材の地産地消を推進しており、学校給食のお米は100%市内産です。

3 市民のソウルフード

ミンチ肉を使ったお好み焼で、府中市で昔から愛され続けているご当地グルメの府中焼き。ミンチの旨みと野菜と一緒に作り出すフワッ、外はミンチの脂でカリッとした焼き上がり。手頃なお値段で、市内では約40軒のお好み焼店が営業しています。

国の支援策(農業次世代人材投資資金)の活用

45歳未満で独立・自営就農する次世代を担う農業者となることを志向する者に対し、就農前の研修を後押しする資金及び就農直後の経営確立を支援する資金を交付します。

支援項目	補助期間	補助金額
経営開始型	▶ 最長5年間	▶ 年間最大150万円
準備型	▶ 最長2年間	▶ 年間150万円

お問い合わせ先
府中市役所 産業振興課

TEL.0847-43-7131

〒726-8601 広島県府中市府川町315
FAX.0847-46-1535

e-mail:noui@city.fuchu.hiroshima.jp



広島県尾道市

人口 / 138,626人 (H27年国勢調査)

山間部から島しょ部まで、豊かな気候風土に恵まれた尾道市では、生産量全国一のレモンをはじめ、地域固有の特色ある農産物が生産されています。こうした農業の体験に興味がある人や新しく農業を始めたいという人等を対象に、援農体験や新規就農の支援に取り組んでおり、農村地域の担い手づくりや活力ある農業振興のために、以下の事業を実施しています。

尾道市の就農支援策

支援項目	期間等	補助(支援)内容
農業総合支援事業 (おのみち援農テゴ隊事業)	随時	新規就農や農業体験に興味がある人と、農繁期の人手不足に悩む農業者等のマッチングを支援しています。
市民農園の開設	空きがあれば随時募集し、単年度契約(更新有)	市内3カ所176区画。農地を持たない市民に月額2,500円で貸与。年2回の栽培講習会を開催しています。
おのみち「農」の担い手総合支援事業 (新規就農者経営安定支援事業)	年度内3回募集し、予算の範囲内で助成	青年等就農計画の達成を目的として、早期に経営を安定させるために必要な生産設備の整備事業です。 補助対象経費の1/2以内 上限100万円
尾道アグリチャレンジ研修事業	随時	おのみち援農テゴ隊において「適正研修」を行い、JAの座学研修や受入農家の現場研修等の「就農研修」を支援しています。 平成29年度対象品目は「わけぎ」
農地情報の提供	随時	農業委員会、農地中間管理機構と連携します。

お問い合わせ先
尾道市役所 農林水産課

TEL.0848-38-9212

〒722-8501 広島県尾道市久保1丁目15-1
FAX.0848-37-2377

e-mail:norin@city.onomichi.hiroshima.jp

ACCESS

		
広島空港から車で 約 45分	JR尾道駅から徒歩 約 15分	尾道IC(福山西IC)から車で 約 15分

尾道はこんなまち!

1 瀬戸内の十字路としての拠点性

瀬戸内の十字路としての拠点性を生かした観光・交流機能を発揮し、全国でも人気のサイクリングコース等を楽しむ訪日外国人を含んだ多くの観光客で賑わっています。

2 2年連続で日本遺産に認定

歴史的景観と文化財を生かしたまちづくりが評価され、平成26年に文化庁長官表彰(文化芸術創造都市部門)を受け、平成27年から2年連続で日本遺産に認定されました。

3 誰もが幸せに暮らせる「安らぎのあるまち」を実現

子育て支援センターや子育て世代包括支援センターの整備等、子育て支援の充実を図っています。また、地域包括ケアシステムや、質の高い地域医療の充実等、健康寿命の延伸に取り組んでいます。

国の支援策(農業次世代人材投資資金)の活用

次世代を担う農業者となることを志向する者に対し、就農前の研修を後押しする資金(準備型(2年以内))及び就農直後の経営確立を支援する資金(経営開始型(5年以内))を交付します。

支援項目	補助期間	補助金額
経営開始型	▶ 最長5年間	▶ 年間最大150万円
準備型	▶ 最長2年間	▶ 年間150万円



広島県神石高原町

人口/9,217人(H27年国勢調査)

神石高原町は昼夜の寒暖差が大きく、美味しい農産物の栽培が可能です。また「空き家情報バンク」により、空き家・空き農地の情報を収集し、田舎暮らしを望まれる方の相談に応じています。特産品のまる豊トマトは、最長2年間の研修制度があり、就農に必要な知識と栽培技術を取得することができます。

神石高原町の就農支援策

	支援項目	期間等	補助(支援)内容
新規就農者支援事業	研修支援金	2年以内	月額10万円
	農地取得等支援金	-	30アール以上の土地の取得等(購入)売買契約50%以内、又は田10アール当たり30万円・畑20万円以内(利用権設定)10アール当たり3万円以内
農業支援一部掲載	ビニールハウスの助成	-	ハウスを1アール以上設置 資材費の50%以内 上限80万円
	トマト養液土耕設置補助	-	事業費の50%以内 上限80万円
	トマト苗代補助	初年度のみ	苗代の50%以内(大玉800本以上)
	ぶどう果樹棚設置補助	-	1カ所5アール以上植付け果樹棚 設置経費の50%以内 防除用機械、灌水施設の10%以内
畜産支援一部掲載	繁殖用雌子牛保留導入補助	-	保留17万円/1頭 導入20万円/1頭
	畜舎新築補助	-	経費の30%以内 上限200万円

ACCESS

		
広島空港から車で 約 60分	JR福山駅から車で 約 60分	福山東ICから車で 約 50分

神石高原はこんなまち!

1 世界を相手にできる人材づくり

英語教育とくに英会話の習得に力を入れています。3歳児程度から英会話を学習できる環境を作り、小学校から大学進学まで支援制度を提供することにより、世界で通用するような人材を育成します。

2 定住支援制度の充実

子ども医療費や出会いの場の提供、誕生祝い金や小中学校入学祝い金等のお祝い金制度を設けています。お祝い金は町内で使えるこうげん通貨を交付し、経済循環を促進。給食費や保育料(第2子以降)の実質無償化等も行っており、定住の加速化を目指しています。

3 神石高原町総合ブランドの構築

特産品である「神石牛」や「まる豊トマト」などを生産する町民を応援するとともに、今あるブランド作物をさらに高級で特徴のあるブランドとするため、神石高原プレミアムブランド「JIN(神)プレミアム」として販売していきます。

国の支援策(農業次世代人材投資資金)の活用

支援項目	補助期間	補助金額
経営開始型	▶ 最長5年間 ▶ 年間最大150万円	
準備型	▶ 最長2年間 ▶ 年間150万円	

お問い合わせ先

神石高原町役場 産業課

TEL.0847-89-3337

〒720-1522 広島県神石郡神石高原町小畠2025
FAX.0847-85-3394

e-mail:jk-sangyou@town.jinsekikogen.hiroshima.jp



広島県世羅町

人口/16,337人(H27年国勢調査)

世羅町では、年間を通して就農希望者の受け入れが可能な農業法人などが町内に複数あり、日本全国から希望者を受け入れています。農業を始めたいという人などを対象に、技術習得から就農までを地域や行政がトータルで支援しています。

ACCESS

		
広島空港から車で 約 30分	JR新尾道駅から車で 約 30分	世羅ICから車で 約 5分

世羅はこんなまち!

1 空き家バンク制度

空き家となっている物件をホームページ等でご紹介。空き家バンク利用者間での契約成立物件には、改修費用等の一部を補助。また、空き家の家財道具等の処分と運搬費用の一部を助成します。本町での生活を体験するため、短期間居住できるお試し住宅も設置しています。

2 新規就農者支援

新規就農希望の方に対して、独立自営就農・雇用就農・親元就農に則した研修事業を実施。独立自営就農した際の機械・施設整備に対して補助するなど、総合的に支援。年齢等いくつかの要件があります。

3 子育て支援

町内の民間賃貸住宅に居住する小学6年生までの児童を養育する家庭に対し、月額最大1万円まで助成。0歳から18歳まで児童が医療機関にかかったとき、1医療機関ごとに1日500円の負担で受診できます。平成29年4月1日以降に生まれた乳児を養育する保護者へ、おむつ購入費用助成と町指定ごみ袋を支給します。

国の支援策(農業次世代人材投資資金)の活用

支援項目	補助期間	補助金額
経営開始型	▶ 最長5年間 ▶ 年間最大150万円	
準備型	▶ 最長2年間 ▶ 年間150万円	

お問い合わせ先

世羅町役場 産業振興課

TEL.0847-22-5304

〒722-1121 広島県世羅郡世羅町西上原123-1
FAX.0847-22-4566

e-mail:sangyoushinkou@town.sera.hiroshima.jp



岡山県井原市

人口 / 41,390人 (H27年国勢調査)

井原市では、国、岡山県の支援制度を利用し、ぶどう栽培の研修希望者の受け入れを行っています。井原市でぶどう農家を志す人を対象に、岡山県、JA、生産者団体と協力し、情報提供や技術指導を行いながら、就農前から就農後までをトータルで支援します。また、研修受入農家や就農アドバイザー、後継者クラブの先輩方は、地域活動や住民との関係づくりなどにも協力してくれます。

井原市の就農支援策（ぶどう栽培農家を志す人への支援）

支援項目	補助(支援)内容・期間等
井原ぶどう塾	井原市内でぶどうを栽培したい人に、年7回程度、ぶどう園場において栽培技術の講習会を行っています。
ぶどう栽培短期体験研修	井原市でのぶどう栽培での就農に意欲を持たれている方に、農家での農業体験・産地見学を随時実施しています。 体験期間：5月中旬～10月中旬 体験日数：1日～5日(日帰り) 研修費：無料
農業体験研修(55歳未満)	農作業や農村生活等への適性を確認することを目的に、先進農家で1か月の農作業や農家生活等を体験する研修制度です。 研修費：10万円(研修終了後に支給)
農業実務研修(55歳未満)	先進農家において、2年以上の技術の習得や地域との絆づくり等により、独立・自営就農するための実践的な研修制度です。 研修費：180万円/年 ※150万円(国または県の事業)+30万円(井原市とJAで上乗せ支給)
その他、研修を受けた人には次のような支援もあります。	
農業施設等整備支援事業	農業経営で使用する中古農機具・施設や入居する住宅等の修繕経費を助成します。
空き家等借入応援事業	就農前後の負担を軽減するため、入居する住宅の賃借料を助成します。

国の支援策(農業次世代人材投資資金)の活用

次世代を担う農業者となることを志向し、独立・自営就農する新規就農者に対して、就農前の研修段階及び就農直後の経営確立を支援します。

支援項目	補助期間	補助金額
経営開始型	▶ 最長5年間	▶ 年間最大150万円
準備型	▶ 最長2年間	▶ 年間150万円

※研修制度・支援制度には、それぞれに要件があります。

お問い合わせ先

井原市役所 農林課

TEL.0866-62-9522

〒715-0019 岡山県井原市井原町311番地1
FAX.0866-62-1744

e-mail:norin@city.ibara.lg.jp



岡山県笠岡市

人口 / 50,568人 (H27年国勢調査)

笠岡市では、就農希望者の受け入れが可能な農業法人などが市内に複数あり、日本全国から希望者を受け入れています。農業を始めたいという人などをサポートするために、以下の事業を実施しています。

笠岡市の就農支援策

支援項目	期間等	補助(支援)内容
農地の斡旋	随時	農地中間管理機構等を通じて農地を紹介します。
受け入れが可能な農業法人等の斡旋	随時	農業法人等を紹介しします。
新規就農研修費用の支給	最長2年間	岡山県が行う農業体験研修事業での研修終了後、その研修費を支援します。

※笠岡湾干拓地の概要や作付状況等について下記のホームページに掲載しています
URL:<http://www.city.kasaoka.okayama.jp/soshiki/29/>

国の支援策(農業次世代人材投資資金)の活用

支援項目	補助期間	補助金額
経営開始型	▶ 最長5年間	▶ 年間最大150万円
準備型	▶ 最長2年間	▶ 年間150万円

お問い合わせ先

笠岡市役所 農政水産課

TEL.0865-69-2143

〒714-0088 岡山県笠岡市中央町1番地の1
FAX.0865-69-2185

e-mail:nouseisuisan@city.kasaoka.okayama.jp

ACCESS



岡山空港から車で
約60分



JR笠岡駅から車で
約30分



笠岡ICから車で
約20分

井原はこんなまち!

1 農業をはじめたいあなたを応援します

瀬戸内地域の温暖な気候と肥沃な土地、そして水に恵まれた井原市では、稲作・果樹・野菜・花き・畜産など、多彩な農業経営が営まれています。中でも、品質の良さと市場からも高い評価を受けている「ぶどう」は市内各地に産地が分布しており、赤土で栽培する「明治こんぼう」は、肉質のやわらかさ、香りの高さが自慢です。

2 美しい自然と都市機能が調和

市内には、郊外型の大型スーパーやホームセンターなどの商業施設が充実しており、生活必需品を揃えることができます。倉敷市や福山市へも30分～1時間程度で、大きな買い物にも大変便利です。一方で、日本三選に選ばれる美しい星空や豊かな自然のもと、四季の移ろいを肌で感じながら、潤いのある生活を送ることができます。

3 いばらぐらしお試し住宅

移住を検討されている方に、井原鉄道井原駅に隣接する民間アパートの1室と、芳井地区、美星地区の空き家それぞれ1軒を、井原市での生活を体験していただくためのお試し住宅としてご利用いただけます。ご利用いただいた方には、市職員が、井原市の生活環境や就農・移住に関する支援制度など、実際に現地を案内しながらご紹介いたします。

ACCESS



岡山空港から車で
約60分



JR笠岡駅から徒歩で
約5分



笠岡ICから車で
約7分

笠岡はこんなまち!

1 自然環境

笠岡市は岡山県の南西部に位置し、東は倉敷市に近接。西は広島県福山市と隣接しており、両方向に交通網が充実しています。北部は緑豊かな田園が広がり、南部は瀬戸内海国立公園として大小約30の島々を有する自然に恵まれ、気候は温暖少雨の典型的な瀬戸内海型気候でとても住みやすい環境にあります。

2 特産物

笠岡市は、農産物としてブロッコリーやいちご・いちじく・なす・キャベツ・たまねぎ・バラなど、畜産物として鶏卵や牛乳・牛肉、海産物としてシャコや波り蟹(ガザミ)・海苔など、幅広く生産されています。これらを生かして和菓子や洋菓子のほか、ジャムなどの加工品が製造されており、一部は「かさおかブランド」に認定されています。

3 移住定住支援制度

笠岡市では、定住促進センターを平成21年より設置し、定住促進に取り組んでいます。主な支援策として、住宅新築や住宅リフォームの助成、子ども医療費の公費負担、保育所保育料の減免などの取り組みを行っています。